

全社員がいきいきと働ける 健康的な職場づくりに取り組む

三和化工紙 株式会社

今月は、大阪府柏原市にある三和化工紙株式会社を取材させていただきました。同社は主に食品の包装紙を、それぞれの用途に合わせて加工し、販売しています。来年で創業60年を迎える同社のあゆみや、全社員がいきいきと働ける職場環境づくりについて、そしてこれからの目標について、代表取締役社長の三井貴子氏にお話を伺いました。



三和化工紙株式会社



三和化工紙 株式会社

代表取締役社長：三井 貴子 氏
所在地：大阪府柏原市円明町1000-7
設立：1957（昭和32）年5月
従業員数：35名
事業内容：包装紙の加工・製造・販売

— はじまりは塩昆布の包み紙

当社は1957年に有限会社三和蠟紙所という、塩昆布を包装する蠟紙の製造を目的とした会社からスタートし、現在はお菓子をはじめとする食品の包装や、ギフトラッピング、台紙、ラベルなど、多岐にわたる化工紙を製造しています。

そもそも蠟紙というのは、「油紙」や「ワックスペーパー」とも呼ばれ、1960年頃には食パンやうどんなどの食品を包む包装紙として主に使われていました。蠟引きが施してあるため、普通の紙とは違って油染みしないことが特徴です。

1970年代になると石油製品が盛んに使われるようになり、紙に代わってプラスチックフィルムが主流となってきました。時代の流れとともにパッケージ素材も多様化し、それに合わせて加工法も多様化しています。当社では、パッケージなどのデザイン・資材の手配から最終製品出荷まで一貫した生産を行い、お客様のオーダーにパーフェクトに応えられるよう心がけています。



— 「Jolie poche」

オリジナルブランドの立ち上げ

当社では、皆さんがよくご存じの食品のパッケージなども製造していますが、商社やメーカーを介しているため、「当社がこれをつくりました」と言うことはできません。そのため、数多くの食品パッケージを作っていますが、それをアピールできるものはありませんでした。

そこで考えついたのが、今ある技術や設備を使って、当社オリジナルの商品を作ることです。ワックスペーパーを使った商材は日本では数少ないですし、自社製品があれば、もっと多くの方に会社を知ってもらえます。

こうして2011年にオリジナルブランド「Jolie poche（ジョリーポシェ）」を立ち上げ、ワックスペーパーでできたレターセットなどの雑貨を作りました。オリジナルブランドということで、デザインも全て自社で手掛けています。



雑貨などの最終商品であれば海を渡ることも可能なので、日本国内のみならず、様々な場所で三和化工紙の商

「Jolie poche」はフランス語で「すてきな(かわいい)ポケット」という意味。電子メールやネットを通してメッセージを送ることが多い今の時代、直接気持ちを伝えることの大切さや、手書きのぬくもり、あたたかさを思い出してほしい。そんな想いが込められた商品です。現在ではインターネットによる通販や、全国各地の大手雑貨店などで取り扱っています。



ラッピングキット



ワックスペーパーバッグ



ギフトタグ



レターセット

品について知ってもらうきっかけになればという思いもありました。実際、ニューヨークの展示会には年に3度、4年間出品しており、米国内では販路もあります。

雑貨だけではなく、これまで取引のあった食品関係のお客様へも、窓あきの袋などサンプルとして見ていただき、とても好評です。

一「健康宣言企業」の取り組み

昨年、全国健康保険協会から「健康宣言企業」の認定をいただきました。

「健康宣言企業」とは、経営者が職場環境や社員の健康に配慮した「健康経営®」に取り組む企業のことです。取り組み内容は、自社の健康課題を踏まえて自分たちで決めます。当社では、健康委員の設置や全員参加のクラブ活動を行っています。

健康委員会は月に1回の活動で、自分たちの健康状態を振り返る機会として、ちょっとした時間のできるヨガポーズを紹介するなど、社員に向けて健康に関する情報を提供しています。

クラブ活動はソフトボール部、バドミントン部、ウォーキング部があります。バドミントン部は週2日が活動日ですが、最近では毎日のように、休み時間にわいわいと集まっている光景を目にします。当初は認定取得条件の一つということで始めたクラブ活動でしたが、

今ではどの部もにぎやかで大変盛り上がっています。

この取り組みを始めたことで、定期的に社員どうしが集まる機会が増え、皆が笑顔でいきいきと働いてくれていると実感しています。また、認定を取得してからの一年間で、求人の応募が徐々に増えてきました。

このような取り組みは大企業に多いのですが、当社のような小規模の企業様にも検討をおすすめしたいと思います。



健康宣言の証

一今後の目標について

我々の業界は今、大きな曲がり角にきています。最近、有名コーヒーチェーン店が2020年までにプラスチックストローを廃止するというニュースが話題になったように、世界規模でプラスチックなどの石油製品が削減される動きにあります。

当社はプラスチックを使った製品の製造もしていますが、将来的にはそのような製品も減らしていかなければな

らないのかもしれませんが。石油化学製品を使い続けることによる環境破壊を避けるためにはどうすればよいのか。その課題について、まずは私たちができることから考え、実行していきたいと思っています。

また、日本の人口は年々減少の一途を辿っています。それと同時に、人材の確保がどんどん困難になっていくことは容易に想像できます。もちろん、魅力ある企業にしていくのも経営者の使命ですが、海外からでも働きに来たいと言ってくれる人がいるのであれば、仲間になってもらって、人を育成するという考えも、小さい会社ながら必要なのではないかと考えています。

最後に、今いる社員が夢を持って働ける職場にするという観点からも、今ある設備を生かし、新しい製品にも果敢にチャレンジしていきたいと考えています。

今は食品のパッケージが中心ですが、それだけに留まらず、ずっと形に残るものや、人が生きていくうえで欠かせないようなところに、当社の技術を応用し、活かすことができればと考えています。それが、私たちの未来につながる夢であり、ミッションであると思っています。

一貴重なお話をいただき

誠にありがとうございました